

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/04/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 3週間ぶり反発、イラン情勢の不透明感を警戒

NY原油先物相場は、1バレル=78.97ドルをボトムに、90ドル台中盤まで切り返す展開になった。イラン情勢の先行き不透明感が改めて警戒される中、押し目が買い拾われている。4月17日、イランのアラグチ外相は、ホルムズ海峡の開放を表明した。しかし、その後は米国がホルムズ海峡の開放に応じなかったことなどを理由に再封鎖に踏み切ったことで、原油・石油製品の流通環境の改善はみられなかった。米国とイランの和平協議にも目立った進展はみられず、供給リスクを織り込む動きが改めて強まり、原油相場の反発を促した。

トランプ米大統領は4月7日の停戦合意について、当初は延長しないとしていたが、イランとの交渉継続中は延長するとした。このため、停戦合意期間の終了を受けて、直ちに米軍のイランに対する攻撃が再開される最悪の事態は回避された。しかし、イランは米国の高圧的な対応が続いている間は和平協議に応じないとしており、イラン戦争終結の見通しが立たないことが、原油市場で押し目買いを誘った。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (4月17日時点) は、原油が前週193万バレル増、ガソリンが457万バレル減、石油精製品が343万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

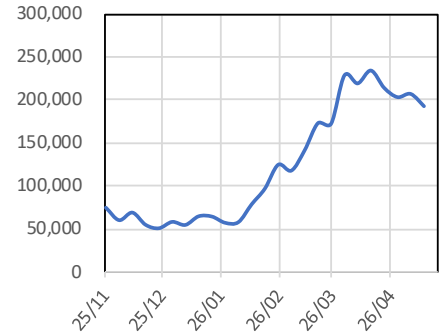
## 【展望】

## イラン情勢に一喜一憂、値下がり傾向だが地合は安定せず

イラン戦争を巡る動向に強く依存する不安定な地合が続く。4月7日、米国とイランは停戦合意に至ったが、戦争終結に向けた協議は難航している。米国はイランの核開発能力を問題視しており、核開発とウラン濃縮の放棄を求めている。しかし、イランはこうした要求を明確に拒絶しており、和平合意に向けて両国の歩み寄りがみられるのかは、先行きが不透明だ。前週は再協議の見通しが立たないことが原油相場の反発を促したが、このまま再協議が行われない状態が続く、あるいは再協議が行われても前回と同様に決裂すると、原油相場は100ドル台回復を試す可能性もある。一方、再協議が行われる見通しが立ち、イラン戦争の終結期待が高まれば、逆に80ドル水準へ急反落する可能性もある。イラン情勢の動向を見極めながらの不安定な地合が続きやすい。

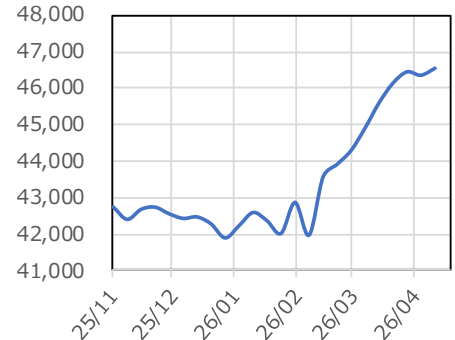
原油先物相場は3月9日の119.48ドル、4月7日の117.63ドルがピークになっており、値位置を切り下げている。ここから改めて大規模な軍事紛争が再発する混乱状況に陥るよりも、和平合意に向かう可能性の方が高いとの見方が優勢になっているためだ。このため、中期トレンドとしては、イラン情勢の混乱を背景とした突発的な上昇を消化しつつも、徐々に値位置を切り下げる展開が基本シナリオになる。ただし、依然としてホルムズ海峡の原油・石油製品の流通は事実上停止したままの状態にあり、大規模な供給不足から世界の石油在庫の取り崩しは続いている。ホルムズ海峡の開放が実現しない場合には、改めて現物相場主導の急伸を促されるリスクが残されていることには注意が必要だ。先物市場は徐々に値位置を切り下げると同時に、期近限月に加算されたプレミアムの剥落を進めているが、こうした動きが楽観的か否かは、ホルムズ海峡の開放状況次第なため、不安定な地合が続くことになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



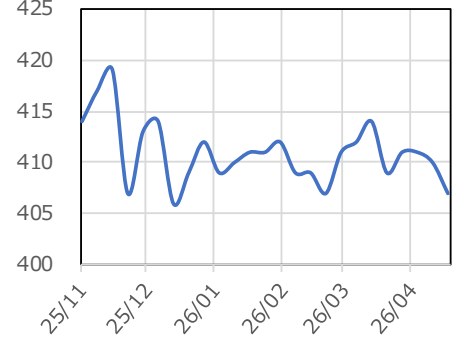
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

